

市政の動き

9月定例会報告
市長総括説明から

8月28日、令和2年第4回市議会定例会が開会しました。

最初に①新型コロナウイルスに係る支援制度(特別定額給付金・STAY豊岡・EAT豊岡・BUY豊岡・感染症予防力向上補助金)の状況②新型コロナウイルス感染症対策認定制度「CLEAN and SAFE TOYOOKA」の新設③令和2年7月豪雨の被災地(大分県日田市等)調査の結果について報告し、その後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものを説明しました。その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

発達障害児の早期発見・早期支援事業

早期に子どもの発達障害を発見し、早期療育につなげることができるよう、本年8月の幼児健診から、M-CHATと呼ばれるスクリーニング指標を用いた問診を実施してい

ます。

全国に先駆けてスマホアプリによる新指標を導入。電子版母子手帳アプリ提供企業と協働で開発しました。明らかになった子どもの課題に対して、早期療育の有効性を保護者に伝え、今年度から充実させた育児・保護者支援教室への参加を積極的に促します。

子ども食堂の開設支援

現在、市内には3カ所の子ども食堂がありますが、子どもたちにとって十分な状況ではありません。市内で新たに子ども食堂を新設する場合、本市は県等の支援制度・先行事例の情報提供、また、申請手続きなどの支援を行います。さらに、開設に必要な備品購入費などへの補助、開設後1年間の運営費用の補助も行いたいと考えています。今議会に、これらに必要な補正予算を提出しています。

持続可能な「力」を

豊岡演劇祭 高めるまち

「豊岡演劇祭2020」の開催概要や公演スケジュール等について、記者発表を7月1日と30日の2回行いました。

新型コロナウイルス感染症対策では、東京都等の感染拡大

地域からの参加アーティストやスタッフには原則としてPCR検査の義務付けを行い、また、演劇祭独自の感染症対策ガイドラインを策定するなど徹底した対策を講じます。チケットは、8月8日から但馬地域在住者を対象に、8月20日からは全国で販売しています。

神鍋高原へのホテル誘致

道の駅「神鍋高原」の隣接地に、民間主導プロジェクトによるホテルが建設されることになりました。このホテルは、食事、風呂、土産物は周辺施設を活用する宿泊特化型で、オープンは2022年の夏から秋を予定しています。建設に当たり本市は、消火栓の設置と上下水道管の布設工事を行います。また、これを契機に、道の駅および周辺地域の機能強化を目指す地元を主体とした検討会議を設置します。

湯の原温泉オートキャンプ場の指定管理者の公募

年度末で終了する湯の原温泉オートキャンプ場の指定管理。次期管理者の公募に当た

っては、施設の休止期間を設けない通年営業ができることを応募条件の一つとし、さらなる需要の掘り起こしにつな

げます。今議会に、通年営業とするための条例改正案を提出しています。

観光客の動向

第2四半期(4~6月)の外国人の延べ人数は140人で、前年同期比99・1%減となりました。宿泊者数全体も4月から6月は約3万7千人で前年同期比83・6%減(本市の大交流ビジョン調査速報値)。国内外ともに非常に厳しい状況です。ただ、城崎温泉外湯の入浴客数は、一斉休業した5月が前年同月比で99・9%減であるものの、6・7月は回復傾向にあります。もちろん、新型コロナウイルス感染症により先行きは不透明です。

アイティ4階のフロア取得・子育て支援総合拠点等整備

アイティ4階フロアを取得し、子育て支援の総合拠点や生涯学習サロンの整備等を行いたいと考えています。子育て総合センターや子ども支援センターを移転し、キッズラ

ンドや子ども図書館などを整備。これに生涯学習サロンを併設し、さらにテレワーク等の民間活動拠点の整備を行います。旧いずたや跡地は生涯学習サロンの屋外交流広場に

します。今議会に、フロア取得のための不動産鑑定費や債務負担行為、および子育て支援総合拠点等の構想策定費に係る補正予算を提出しています。また、生涯学習サロンの整備費用が減額となる見込みのため、これに係る減額補正予算も提出しています。

北近畿豊岡自動車道

日高豊岡南道路(日高神鍋高原インターチェンジ)但馬空港インターチェンジ)は、今秋に開通する予定です。開通時には、開通式典、通り初め式などを国、県等とともに開催したいと考えています。引き続き「豊岡道路」「豊岡道路II期」の早期開通に向けて、地元調整や用地交渉への協力などを行います。

但馬空港の状況

4月から7月の但馬空港の利用者数は3221人で、前年同期比77・5%減(1万1064人減)。新型コロナウイルス感染拡大の影響

※掲載している情報は編集時点(9月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

で大きく減少しました。なお、2月と7月、県が設置した「但馬空港のあり方懇話会」が開催され、東京乗継便の需要が増加傾向にあることから東京直行便を期待する意見がありました。本市としてもその実現に向け、全力を挙げていきます。

○豊岡スマートコミュニティ

5月7日、トヨタ・モビリティ基金と本市は「豊岡スマートコミュニティ推進機構」を設立しました。「豊岡演劇祭2020」において日高地域を中心としたモビリティの実証実験、竹野南地区と小野地区では防災・福祉分野などにおける情報技術の活用を検討します。10月から、これらのプロジェクトに携わる地域おこし協力隊員を1人加え体制強化します。本庁舎2階には当機構の活動拠点となる部屋「Bierroom」を開設しました。

○移住促進住宅

但東地域への移住促進策の一環として、特定公共賃貸住宅の赤野住宅5戸を、移住促進住宅に用途変更します。この用途変更により、比較的即時に、かつ所得要件なく入居

ができるようになります。

10月から、移住・定住希望者の募集を開始したいため、今議会に、必要な条例改正案を提出しています。

○地域おこし協力隊

10月から開始予定で募集した地域おこし協力隊。13の活動メニュー(定員17人)に対し、過去最多となる56人の応募がありました。このため定員を3人増加し、計20人を受け入れたいと考えています。今議会に、必要な補正予算を提出しています。また、この状況を好機と捉え、来年度予定していた一部の活動メニューを前倒しして3人の隊員を新たに募集します。これに必要となる補正予算についても今議会に提出しています。

■未来を拓く人を育むまち

○幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期していた市民説明会を8月24日から順次開催しました。今後、市民説明会でいただいた意見を整理し、パブリックコメント等を経て、2021年2月を目途に計画を策定します。

○タブレット端末の配備

現在、中学生と小学4年生以上を対象に、1人1台のタブレット端末の配備を進めているところですが、さらに小学3年生以下にも配備したいため、今議会に、必要な補正予算を提出しています。このタブレット端末は、長期休校した場合の家庭でのオンライン学習の他、通常授業でも活用します。

○小中学校適正規模・適正配置に係る地域別意見交換会

9月23日から10月29日にかけて6地域で意見交換会を開催します。学校は子どもたちの教育施設であるとともに、地域の交流拠点でもあります。率直な意見をより多く聞けるよう、保護者と地域の方の日程は分けて開催します。

○専門職大学の進捗

「国際観光芸術専門職大学(仮称)」の設置認可時期は、文部科学省の示す標準スケジュールにおいて8月下旬とされています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により遅れが生じる見込みとなっています。現時点で、文部科学省から正式な認可時期は示されていませんが、

県からは来年4月の開学に影響の無いよう適切に対処していくと聞いています。なお、大学学舎と学生寮の建築工事は順調に進められています。

■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

○植村直己冒険館の機能強化改修運営事業

植村直己冒険館の改修運営事業は、昨年9月に事業契約を締結し、6月に工事着工しました。予定どおり来年4月にリニューアルオープンする見込みです。管理運営は指定管理制度を導入するため、今議会に、条例の全部改正案を提出しています。

《市政の運営》

○公共施設マネジメント

の推進

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期していた「地域デザイン懇談会運営支援業務」の業者選定プロポーザルを8月7日から開始しました。10月中には業者を選定し、秋以降、地域デザイン懇談会を開催したいと考えています。

○出石文化会館跡地の売却

7月8日から22日まで、一般競争入札による売却先の公

募を行いました。その結果、(株)オークに跡地の全てを一括して売却することとなりました。8月3日、土地の売買に係る仮契約を締結。今議会に、この財産処分のための議案を提出しています。

○長期財政見直し

長期財政見直しは、前年度の決算額を基本に、一般財源ベースで2029年度までの10年間を見通しています。前年の見直しと比較して、歳入では普通交付税が減収、歳出では人件費が増額、補助費等や投資的経費が減額の見込みとなりました。また22年度以降の事業に公共施設等適正管理推進事業債を充てることによる一般財源の負担減により、年平均での赤字額は5・7億円から4・9億円へと8千万円減少しています。

このように赤字額は若干緩和されていますが、厳しい状況に変わりはありません。持続可能な行政経営を目指し、経費節減等に向け、さらに検討を進めます。今後の新型コロナウイルス感染症次第では、見通しがさらに厳しくなる可能性があります。

※掲載している情報は編集時点(9月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、ご注意ください。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。